

# 特別支援教育学習指導案

指導者 T1 向井 紋子 T2 野口 慶子  
T3 井上美由紀 T4 坂本善彦

日時 平成30年11月17日(土) 第2校時 (11:05~11:55)

年組 東雲中学校 全学年3組 14名 (1学年6名, 2学年4名, 3学年4名)  
東雲小学校 全学年養護学級 12名

場所 中学校 マルチルーム 中学校1年3組 中学校2年3組 中学校3年3組

単元 同好会活動「力を合わせて」

## 単元について

本校特別支援学級は、障害の程度が中・軽度の知的障害を有する生徒を対象とした学級である。各学年に特別支援学級は1学級あり、全学年合計14名の生徒が在籍している。生徒は広島市内や周辺の地域から徒歩あるいはバス、鉄道等の公共交通機関を利用して一人で通学している。特別支援学級では集団での学習活動を軸にしており、学年別の授業の他、全学年による授業や個の実態に応じ学年の枠を超えたグループによる授業を行っている。学習面だけでなく、委員会やクラブ活動、行事等、学校生活全般において、学級や学年の枠を超えた関わりが多いのが特徴の一つと言える。個々の生徒の実態としては、意欲的に課題に取り組み、考えて行動しようとする生徒、意欲はあるが自分の意見を表現することが苦手な生徒、聞かれたことに適切に返答することが難しい生徒など様々である。また、現在は半数の生徒が東雲小学校の卒業生であり、小学校との合同で行う活動は、一学期は、顔合わせ会、二学期、小中合同運動会、交流発表会、三学期はお別れ会などと機会が多い。二学期に行っている小学生との同好会活動は、学期末に行う交流発表会で、活動内容をアピールすることになっている。このような小学生との取り組みの中で中学生が小学生を意識して、わかりやすく伝え、相手に楽しんでもらうために工夫していこうとする気持ちが育ってきていると感じている。

本単元では、趣味趣向の同じ仲間との活動を通して、よりそのことを深く好きになれたり、深く知れたり、同じ思いを仲間と共有する楽しさを味わえることで、自ら生活を楽しむという体験をできると考えた。生徒が自立と社会参加を目指すとき、「働く力」も大切であるが、通勤や更衣、衣食住に関する「暮らす力」や、休憩やアフター5、休日の過ごし方などの「暮らす力」や「楽しむ力」が必要になる。楽しむ力は、家庭の中の活動もあるが、家庭にとどまらず、公共の場であったり、友人と過ごす時間であったり、家族以外の他者とつながる場面が多い。思春期を迎えた多感な中学生の時期に、同年齢の仲間とともに自分の好きなことに打ち込む体験をすることで、社会と繋がりながら自分の生活を豊かにすることができる実感味わわせたいと考えた。

指導にあたっては、自分の趣味趣向を大切にしながら、どんな楽しみ方ができるか考えさせ、賛同してくれる仲間を集めて「同好会活動」をする。好きなことに打ち込み、より楽しむために工夫したり、自分たちでルールを決めたり、何かを作り上げたりする活動は、生徒がより積極的に活動するであろうと考える。さらに、活動内容を12月に行われる交流発表会で発表する場を作る。そのことで、より一層、自分たちの好きなことをアピールできることにやる気を見せ、活動が充実すると考えた。また、この同好会活動は、小学校養護学級の児童を誘って活動をする。活動を小学生と共にすることで、責任感や秩序を重んじる行動が期待できる。本時は、それぞれの同好会活動で準備してきた交流発表会に向けての発表内容の中間発表会を見せ合う活動の後、自分たちのこれまでの同好会活動と中間発表会を振り返り、これからの同好会活動をより楽しむ方法を考える活動である。本単元の体験を通して、自分の趣味趣向をもっと好きになって欲しいことと、身近に存在する学校の部活動にも関心を持ち、挑戦してみようとする態度があらわれることを目指している。

## 指導目標

1. 生徒が自分の趣味趣向と向き合い、自分の好きなものをより一層研究し、楽しむ方法を考えられるようにする。
2. 生徒が趣味趣向の同じ仲間とたくさん語り合える場を設定し、自発的により楽しめる方法を見つけ、実行できるようにする。

## 指導計画(全 15 時間)

	時数	学習内容	学習活動
第一次	1	同好会活動の実施について	自分の趣味趣向を大切にしながら、やってみたい活動内容を考える。 ・自分の好きなものを考え、発表する。 ・仲間の好きなものを聞き、考えを広げる。
第二次	3	同好会活動の内容決定	自分の趣味趣向を大切にしながら、賛同してくれる仲間が集まり、活動内容とメンバーを決定する。 ・趣味趣向が似た仲間グループを組み、活動内容を決定する。 ・「アイドルグループ」「劇グループ」「クイズグループ」「ものづくりグループ」に決定。
			賛同してくれる仲間（小学生）を増やす活動をする。 ・小学生を誘うため、活動内容をアピールし、仲間に誘う。 ・小学生にアピールするための準備をしながら、同好会活動を楽しむ。
第三次	8	同好会活動開始 交流発表会に向けて	自分たちの同好会活動をアピールし、より楽しむために工夫したり、自分たちでルールを決めたり、作品を製作したりする。 ・アピール方法（発表内容）を考える。 ・交流発表会に向けて、準備や練習をし、同好会活動を楽しむ。 ・中間発表会をし、より楽しむための改善点を探る。 （本時 6 / 8） ・改善点を楽しみながら修正する。
	2	交流発表会	自分たちの同好会活動をアピールする。 ・自分たちの好きなことや楽しさをアピールする。 ・仲間の発表を温かい気持ちで受け入れ、自分たちも楽しむ。
第四次	1	振り返り	同好会活動や交流発表会を振り返る。 ・活動を映像で視聴し振り返りを行う。 ・同好会活動の満足度を自己評価し、さらに仲間と語り合う。

## 本時の目標

中間発表会とこれまでの同好会活動を振り返り、これからの同好会活動をより楽しむ方法を考えることができる。

本時に関わる、生徒の実態と個別の目標、支援(一部)

	学年	生徒	本時に関わる実態	個別の目標	目標達成のための支援
アイドル	3	A	様々な活動について、活動内容を理解して、実行することに時間がかかるが、仲間の言動を肯定的に捉え、評価することができる。	自分や仲間のよかった点を具体的に評価することができる。	発言できる状況や時間を確保する。
	3	C	歌と踊りが大好きで、動きも正確であるが、仲間と踊りを合わせることに喜びを感じている様子はない。	仲間と動きが揃う気持ちよさを実感できる。	改善策を考える時間にも、細かく動画を撮り、動きが揃っていく様子を確認する。
劇	2	H	自分の興味のあることに没頭する様子がみられる。発言力があり、グループのリーダー的存在である。	自分の趣味趣向を大切にしながら、仲間の意見も大切にし、取り入れることができる。	劇中の振り返る場面を短く提示し、仲間の動きを全員で確認できるようにする。
	1	M	自分の興味のあることに対して独自の楽しみ方をする。	仲間の考え方と自分の考え方を比較しながら、新しい提案ができる。	製作物のデザインを中心に、仲間の改善点についてアドバイスができるように声かけをする。
クイズ	2	G	好き嫌いがはっきりしていて、周りと折り合いをつけることが苦手であるが、思ったことを率直に発言でき、人前で発表することを楽しむことができる。	自分が楽しめるだけでなく、参加してくれる人が楽しめるクイズの出し方を仲間の方法から考えることができる。	クイズの出題方法をグループ分けし、より楽しめるクイズの出題方法を探れるようにする。
	1	N	常に自分に自信がなく、思っていることを発言や提案することができないが、物事の本質を理解し、正しい判断をすることができる。	仲間のクイズに対する評価を、明確にできる。	仲間のクイズの様子を3段階で評価するなど、意思表示をしやすい方法を提示する。
ものづくり	2	B	興味の範囲が狭く、ひとりで楽しむ傾向があるが、仲間の邪魔をすることや、妨害することはない。	仲間と同じことで楽しめた自分の様子を振り返り、さらにどうすれば楽しめるか考えることができる。	動画を見ての振り返りから、仲間と協力して作った作品で、参加してくれた人が楽しんでくれている様子を肯定評価する。

学びを豊かにするための手立て

本単元で大切にすることは、生徒自身がやりたいこと、興味があることで学習を進めることである。これまでの学習では、例えば、昨年度は「小学生に職場体験学習の内容を伝えよう」という大きなテーマを提案し、生徒は自分たちの経験をもとに、伝える内容を考えた。しかし、今回は、生徒が挑戦したいことを考え、グループに呼びかける授業を実施する。自分の興味があること、自分の好きなものを自信を持ってアピールし、その思いに賛同してくれる仲間を得る経験は、自尊感情を育み、積極的な態度を育成すると考える。実際、劇グループのメンバーは、休憩時間を利用して、小物の製作を自主的に始めている。同年齢の仲間とともに自分の好きなことに打ち込む体験をすることで、社会と繋がりながら自分の生活を豊かにすることができる実感味わわせたい。

## 学習の展開

学習活動 (□) と評価 (◆)	指導上の留意点 (・) と支援 (■)
<p>本時の学習について確認する。</p> <p>□活動内容の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①前時の活動の振り返り</li> <li>②他のグループの意見を集約</li> <li>③本番に向けての改善策を検討する</li> <li>④今日の活動内容の報告をする</li> </ul> <p>□活動場所の確認, 移動。</p> <p>アイドルグループ→マルチルーム 劇グループ→1年3組 クイズグループ→2年3組 ものづくりグループ→3年3組</p>	
<p>□前回の発表を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表を楽しめたか?</li> <li>・準備, 練習は楽しめたか?</li> <li>・見てくれた人の評価はどうか?</li> </ul> <p>□交流発表会に向けての改善策を考える。</p> <p>◆中間発表会とこれまでの同好会活動を振り返り, これからの同好会活動をより楽しむ方法を考えることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同好会活動を楽しんでいるかという視点で振り返らせる。</li> <li>■発表の様子を動画で振り返り, 客観的に捉えさせる。</li> <li>・アドバイス・気づきシートを分析し, 改善策を見つけさせる。</li> <li>■もっと楽しめる方法はないかという視点で考えさせる。</li> </ul>
<p>□活動内容の報告。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・改善点を発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より楽しむために考えたポイントを発表する。</li> </ul>

## 準備物

前時の中間発表会の様子の動画 (タブレット) 他グループからのアドバイスシート  
ワークシート (集約用紙, 評価シートなど)